

関内駅前地区の景観誘導に関する考え方ー関内駅前地区のまちづくり

1 関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン

大規模土地利用転換を通じて、関内駅周辺地区全体に「国際的な産学連携」「観光・集客」機能が集積し、賑わいにあふれる地区となることを目指して、関内駅周辺地区のまちづくり方針となる「関内駅周辺地区エリアコンセプトプラン」を策定しています。

関内駅前地区（関内側エリア）については、「**現行の基準の見直しも視野に入れ、地区計画等の都市計画手法等を活用した適正な誘導を通じて**」新たなまちづくりを行うとしています。
B・C地区については、「**市街地再開発事業等の集約化を通じて結節点機能の強化**」を図り、「**業務・商業機能と居住機能が適切に共存したまちづくりを目指す**」としています。

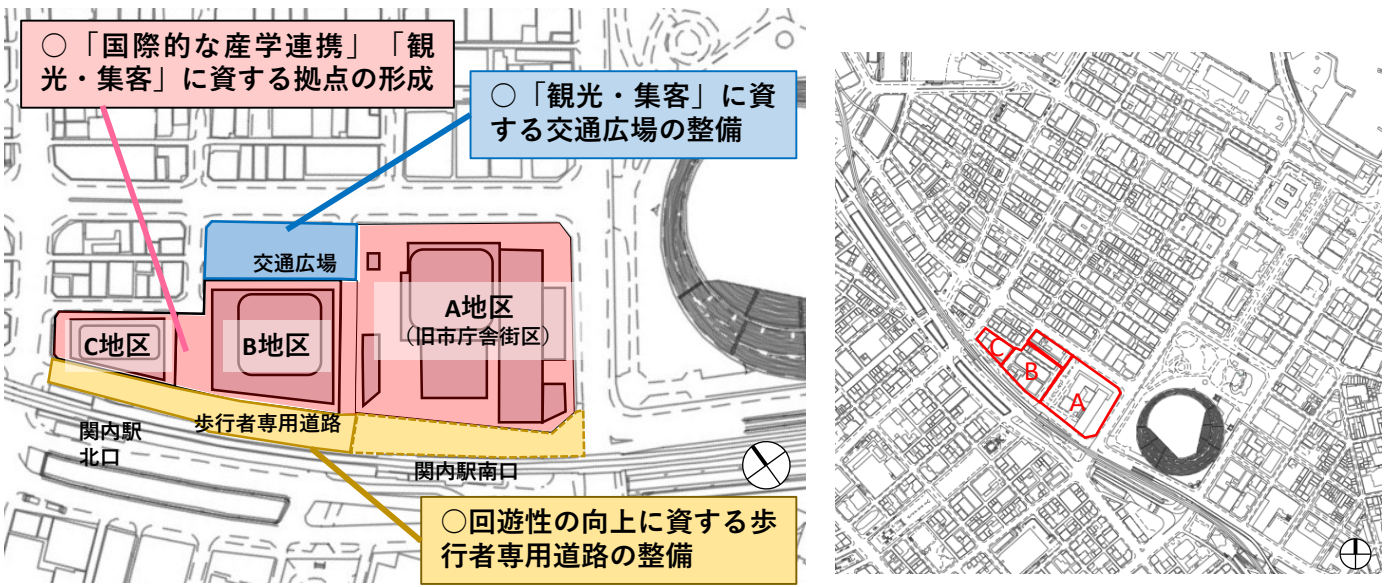
土地利用転換を行う際には、**関内・関外地区の新たなシンボルとなるような景観形成を目指し、建築物の低層部には、人々の活動による賑わいのある景観を誘導するとともに、最高高さ等高層部の景観についても、現行基準の見直しも含めて、地区の象徴となるような魅力と品格のある眺望景観を誘導**します。



2 関内駅前地区に求められる整備内容

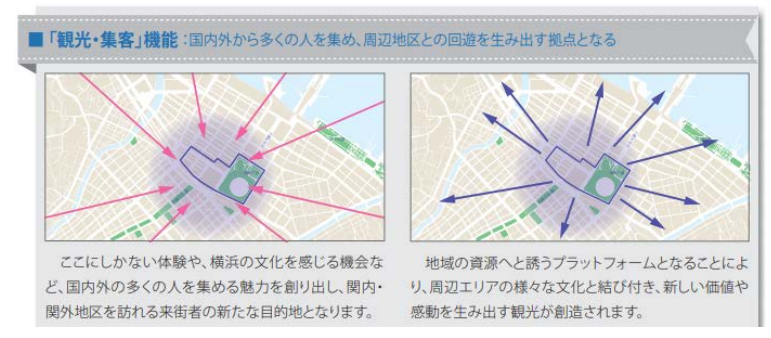
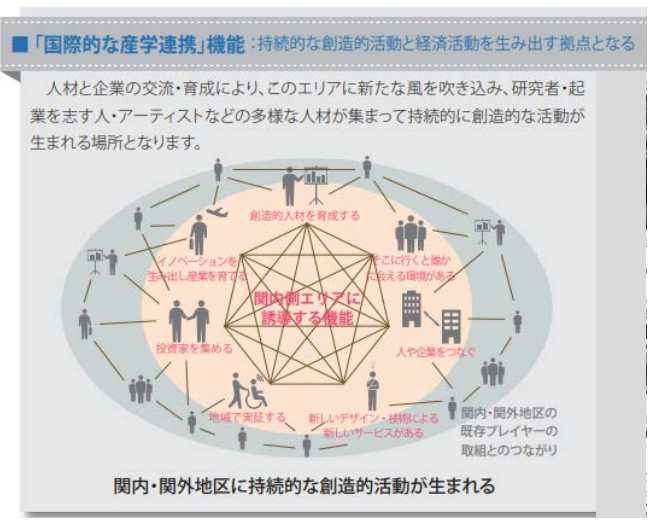
関内駅前は、関内地区では希少な大規模な土地利用転換が連鎖的に見込まれるエリアです。

- 「国際的な産学連携」「観光・集客」の拠点形成し、周辺地区へ賑わいが波及することを期待
- 関内駅前に「観光・集客」に資する交通広場を整備し、羽田空港や、他都市、観光地とのアクセス性を向上
- 関内駅北口から南口までを一体の歩行者空間とすることで、横浜中華街・日本大通りからイセザキ・馬車道をつなぎ、都心臨海部の回遊性を向上



「国際的な産学連携」「観光・集客」の機能

- 関内駅前に**大企業本社クラスのオフィス呼び込み**、関連企業が関内・関外地区へ進出してもらうことで、**関内・関外地区の業務機能を活性化**。
- 関内・関外の業務機能の活性化には**スタートアップ企業の活性化**が必要。MM21地区に集積してきている研究開発拠点や大学などの研究機関と容易に連携できる環境が重要であり、好立地な関内駅前に**様々な交流機能を整備し、産学連携を活性化**。周辺企業やクリエイターとの連携を期待。
- グローバル企業に選んでもらえる街には、職住近接、交通アクセスの充実、海への眺望を満たすハイグレードな賃貸レジデンスなど**様々な居住環境**が必要。関内駅前がスタートアップの目標になる。
- 休日や平日夜間の賑わい創出のため、**観光の拠点を形成**。休日に楽しめる集客施設や平日夜間に楽しめるナイトライフの拠点を整備。



これらの土地利用転換を伴う都市基盤の整備と機能を誘導するために**再開発事業を推進し、土地の高度利用を図る**

3 今後の進め方

